

地域に内在し世界を構想する JCAS Review

地域研究 Vol. 11 No. 2

総特集 | 災害と地域研究

[座談会] 林勲男 / 山影進 / 伊東利勝 / 西芳実 / 市野澤潤平 / 山本博之

特集1 | 災害がひらく社会

西芳実 / 山本博之 / 山本理夏 / 牧紀男

特集2 | 災害がむすぶ世界

市野澤潤平 / 小河久志 / 鈴木佑記

● 地域研究コンソーシアム / JAPAN CONSORTIUM FOR AREA STUDIES

〔総特集〕災害と地域研究

〔総特集にあたって〕災害と地域研究

——流動化する世界における新たなつながりを求めて

山本博之

006

〔座談会〕災害研究の新しい視座をめざして

林勲男・山影進・伊東利勝

014

——国際社会・国家・コミュニティ

西芳実・市野澤潤平・山本博之（司会）

〔特集1〕災害がひらく社会

〔特集にあたって〕災害がひらく社会——スマートラの経験を世界に

西芳実

040

災害対応の地域研究——被災地調査から防災スマートラ・モデルへ

山本博之

049

スマートラでの学びをハイチへ——緊急人道支援の現場から

山本理夏

062

社会の流動性と防災——日本の経験と技術を世界に伝えるために

牧紀男

077

災害からの復興と紛争からの復興

——二〇〇四年スマートラ沖地震津波の経験から

西芳実

092

特集
2 災害がむすぶ世界

「特集にあたって」災害から地域を見る

——タイ南部におけるインド洋津波の微視的描写

市野澤潤平

108

宗教実践にみるインド洋津波災害

——タイ南部ムスリム村落における津波災害とグローバル化の二断面

小河久志

119

創られた災害——洪水神話から出来事としての〈津波〉へ

鈴木佑記

139

プーケット復興委員会の熱い夏

——インド洋津波後のプーケット在住日本人の経験におけるリスクと孤独

市野澤潤平

161

災害と地域研究

災害は人類共通の課題だが、その現れ方は地域ごとにさまざまに異なる。災害をめぐるさまざまに当事者の経験をどのように共有することができるのか。また、これまで人間社会が築き上げてきた国家を中心とする社会秩序に対し、災害対応の経験の共有はどのような意味を持ちうるのか。

災害がひらく社会

災害はかけがえないものを奪う。残された者は喪失の記憶を背負いながら、しかし明日へと向かわなければならぬ。災害対応の現場では、さまざまな思いを持つ人々が、よりよい社会に向かう創造的な復興に取り組んでいる。二一世紀の人類社会の共生の道は、どのようにつくることができるのか。

災害がむすぶ世界

二〇〇四年にタイ南部のアンダマン海沿岸を襲ったインド洋津波——未曾有の事態として降りかかった大災害を、住人たちはどのように経験したのか。本特集は、人々の立ち位置によって、まったく異なるものとして捉えられた津波の姿を多面的に描き出すとともに、グローバル化の波に飲み込まれつつある地域の実情をも浮き彫りにする。

『地域研究』刊行にあたって

グローバル化の進む今日、世界の各地は緊密に関連し、また共通の課題に直面しています。その変化や課題が展開されているのは、人々の生きる現場である「地域」。『地域研究』は、地域の総合的理解を目指す地域研究のフォーラム誌として、世界各地を対象とする多様な研究を結び、地域の視点から問題を提起し、「地域から世界を考える」ことを目標に刊行されます。

『地域研究』は、編集委員会を地域研究にかかわる全国の研究教育機関、研究プロジェクト、学会、市民組織や国際機関などが参加する「地域研究コンソーシアム」におき、多様な研究対象地域やアプローチをもつ研究者が協力して編集しています。年2回の刊行はコンソーシアム事務局を担当する京都大学地域研究統合情報センターが行っています。

投稿のご案内

『地域研究』では、特集案および個別論文を公募しています。特集企画案は編集委員会で検討し採否を決定します。個別論文は、査読を経たのち、編集委員会で採否を決定します。公募要領および執筆要項などの詳細は、地域研究コンソーシアムのホームページ (<http://www.jcas.jp>) に掲載しています。また刊行担当 (journal@cias.kyoto-u.ac.jp) にメールにてご相談いただくこともできます。

地域に立脚した視点から広く「世界」を考える企画・論考を歓迎します。ぜひふるって、ご応募ください。

『地域研究』編集委員会 (2011年3月現在)

白杵 陽	日本女子大学文学部 (委員長)
阿部健一	総合地球環境学研究所
市野澤潤平	宮城学院女子大学学芸学部
川島 真	東京大学大学院総合文化研究科
西 芳実	立教大学 AICC
柳澤雅之	京都大学地域研究統合情報センター
山本博之	京都大学地域研究統合情報センター
小森宏美	京都大学地域研究統合情報センター (刊行担当)

編集後記

今号は、災害に焦点を当てた2つの特集からなる災害大特集号です。災害という主題を通じて地域研究のあり方の新しい展開が提示されていると同時に、そうした展開が研究にとどまることなく、実際の支援現場に還元されるという双方向的発展の可能性が指摘されています。災害対応に関心のある方だけでなく、地域研究の現在の展開とその可能性について知りたい方、考えたい方などにも、ぜひお読みいただきたい1冊です。 (刊行担当 小森宏美)

地域研究 Vol.11 No.2

初版発行	2011年3月31日
編 集	地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会
発 行	京都大学地域研究統合情報センター 〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 journal@cias.kyoto-u.ac.jp http://www.cias.kyoto-u.ac.jp
制作・発売	株式会社 昭和堂 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 電話075-706-8818 / FAX 075-706-8878 振替01060-5-9347 http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/

印刷 亜細亜印刷

© 地域研究コンソーシアム『地域研究』編集委員会 2011

Printed in Japan

ISSN 1349-5038

ISBN978-4-8122-1116-8